

大豆特報

令和8年10月5日
黒東地域農業技術者協議会

本年産大豆の黄化状況は平年並みで、成熟期は平年並みと見込まれます。ほ場や品種ごとの成熟状況を確認し、刈り遅れのないよう計画的に収穫作業を行いましょう。

1. 収穫前の準備

- ・ 収穫前に大きな雑草や青立ち株を抜き取り、汚損粒の発生を防止しましょう。
- ・ 雑草対策の詳細は裏面参照
- ・ ほ場間差が大きいので、落葉状況や莢色を確認して、成熟の早いほ場から収穫を始めましょう。



褐色莢の割合 90%



子実水分 22%

【刈取始期の目安】 ほ場の半数の株が落葉してから1週間程度

品種	子実水分	莢色
えんれいのそら	22%以下	<u>全体の莢の9割以上が褐色</u>
シュウレイ、オオツル	20%以下	<u>ほとんどの莢が褐色</u>

※子実や莢の水分が高いと、汚損粒や破碎粒、脱穀選別ロスが増加し、刈遅れは、しわ粒や腐敗粒が増加するとともに、子実の光沢が低下します。各支店に水分計が備えてありますので、ご活用下さい。

2. 収 穫

- ・ 収穫作業は、莢や茎が乾いた時間帯（午前10時～午後4時頃）に行いましょう。
- ・ コンバインの刈取り高さは地際から10cm程度とし、土の混入による汚損粒の発生を防止しましょう。



3. 乾燥・調製・選別

- ・ 急激な乾燥は、しわ粒や皮切れ粒の発生原因となるので、通風乾燥するか、加温する場合は「気温＋5℃以内」の送風温度で乾燥しましょう（毎時乾減率は0.3%以下とする）。
- ・ 仕上げ水分は14%とし、選別は適正な流量で行い、被害粒や異物（雑草種子等）を取り除きましょう。

裏面へ

難防除雑草に注意！ 収穫前に必ず確認・除去

難防除雑草は、種子が土中で長期間生き残ります。

早期発見・早期防除を徹底し、ほ場への侵入・拡散を防ぎましょう。

3つの雑草対策

1 見つけたら抜き取る

大豆に絡みつく雑草や、果実のある雑草は、収穫前にほ場から抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。

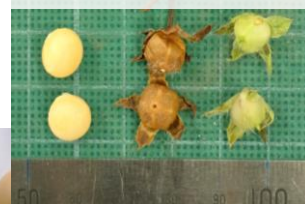
2 収穫物を区分する

アサガオ類が発生したほ場の大豆は、他のほ場と区分して調製してください。選別時は適正流量を守り、雑草種子を確実に除去しましょう。

3 収穫後に機械を清掃する

発生ほ場の収穫後は、コンバインの足回りや機体に付着した種子・土を清掃し、雑草の拡散を防ぎましょう。

大豆、アサガオ果実



大豆と
アサガオ種子

要注意雑草

【帰化アサガオ類】

- ・つるが大豆に絡みつき、倒伏や機械作業の妨げになります。



マルバルコウ



マルバアメリカアサガオ



マメアサガオ

【イヌホオズキ類・ヨウシュヤマゴボウ】

- ・果汁が大豆に付着すると
外観品質を低下させます。
- ・毒性成分を有するため、
刈取前に確実に抜き取りましょう。



イヌホオズキ



ヨウシュヤマゴボウ